



第7回アクティブラーニングイベント

チーム名：**Wir sind Genies**

メンバー 小金丸幹太（レポート作成）

鷹取周斉（構成・発案）

平等な社会を実現するために 私たちにできることは？

↑画像 I

議題「言語平等社会を目指す」新型コロナウイルス感染症が長崎にまで広まる前は毎年長崎に多くの外国人観光客が来ており、よく私たちはその人たちがよくわからない言葉で話しているのをよく聞きました。私たちが使っている言語は日本語、中国人の方たちが使っているのは多くは中国語、

そして世界中で多く使われているのは「**英語**」

そして今世界のコミュニケーションの基準となる世界標準語が英語になり国際交流を重要視している今の社会では英語の習得が必須となりつつあります。

しかし英語を習っている大学生や社会人などの人たちはともかく、私たち子どもや英語を習っていない人たちは、簡単な会話はできるものの複雑な話になってくると話についていけなくなってしまいます。

未来の社会を作っていくのは今の子供たちであり国が違う外国人達との会話による交流ができないのは、よりよい社会を作っていくためには改善すべきことだと私たちは考えました。

[母語で会話できるようになるとどうなるのか？]

私たちがいつも会話で使っているのは親や周りの環境によって覚えた**母国語**を使って会話をしています。

そして私たちが様々な表現をしているのもこの母国語です。

そして私たちは、この母語を使って会話できるようになると英語などの後天的に使えるようになった言語よりも感情や情報を相手に伝えることが出来ると考えました。それに世界標準言語の英語を仕事等の社会で使うとなると英語が母語であるアメリカやイギリス等の国が社会的に有利といなると考えこの議題を解決することで今注目されているSDGsの中の10番目の「**人や国の不平等を無くそう**」という目標の達成につながると考えました。

画像 I ・ 画像 II [SDGsのポスター・ロゴ・アイコンおよびガイドライン](#)

10 人や国の不平等をなくそう



↑画像 II

目次

- 言語平等について調べようと考えたきっかけ
- 今、世界の言語はどうなっているのか
- どうすれば言語平等社会を築けるのか
- [提案] 翻訳こんにやく
- 平等に対する願い
- 感想

言語平等について調べようと考えたきっかけ



↑画像 I

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう前までは私たちが住んでいる長崎県には毎年多くの外国人観光客が訪れていました。

そんな外国人観光客の中には子供も多く、好奇心からかまれに話しかけられることも多くありました。しかしそんな外国人が使う言葉など子供はともかく大人でも他言語を勉強していない人は、理解できないのでは無いのでしょうか。

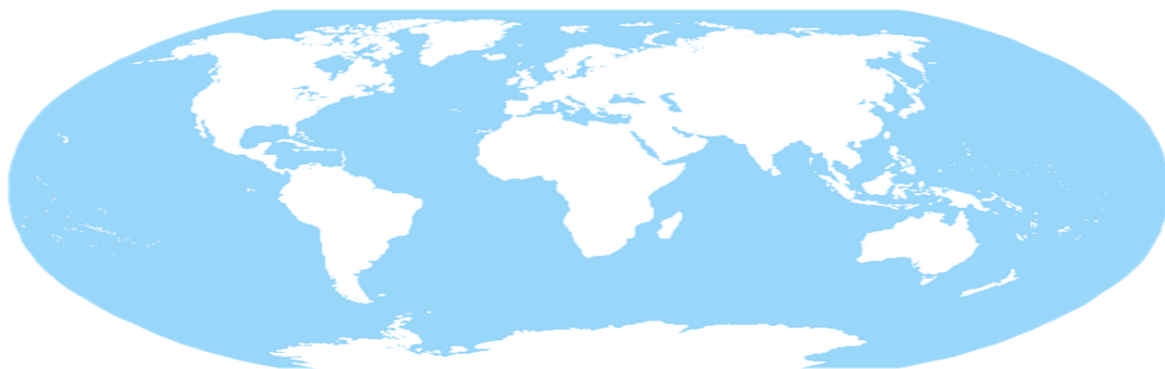
そして今の小学校では昔より英語教育が重要になっているとよく聞きます。

実際に私たちが小学校の時に英語学習は急に進みました。

「なぜ英語学習がこれから重要になるのか？」

なぜ英語学習が重要になってくるのか、というのは「最近では国際交流が進み世界標準言語の英語の習得が必須になっているということなのだ。」ということが私たちが議論した結果になりました。

それでは今の世界の言語はどのようになっているのでしょうか？



↑画像 II

「今、世界の言語はどうなっているのか」

使用者数ランキング Native Speaker

1位	中国語	11億9700万人	11位	ジャワ語	8430万人
2位	スペイン語	3億9900万人	12位	ドイツ語	7810万人
3位	英語	3億3500万人	13位	韓国語	7720万人
4位	ヒンディー語	2億6000万人	14位	フランス語	7590万人
5位	アラビア語	2億4000万人	15位	テルグ語	7400万人
6位	ベンガル語	1億8900万人	16位	マラーティー語	7180万人
7位	ポルトガル語	2億300万人	17位	トルコ語	7090万人
8位	ロシア語	1億6600万人	18位	タミル語	6880万人
9位	日本語	1億2800万人	19位	ベトナム語	6780万人
10位	ラフンダー語	8870万人	20位	ウルドゥー語	6400万人
			21位	イタリア語	6380万人
			22位	マレー語	6050万人
			23位	ペルシャ語	5700万人

まず資料 I を見てください。
資料 I では言語を使用している人数が
一番多いのは

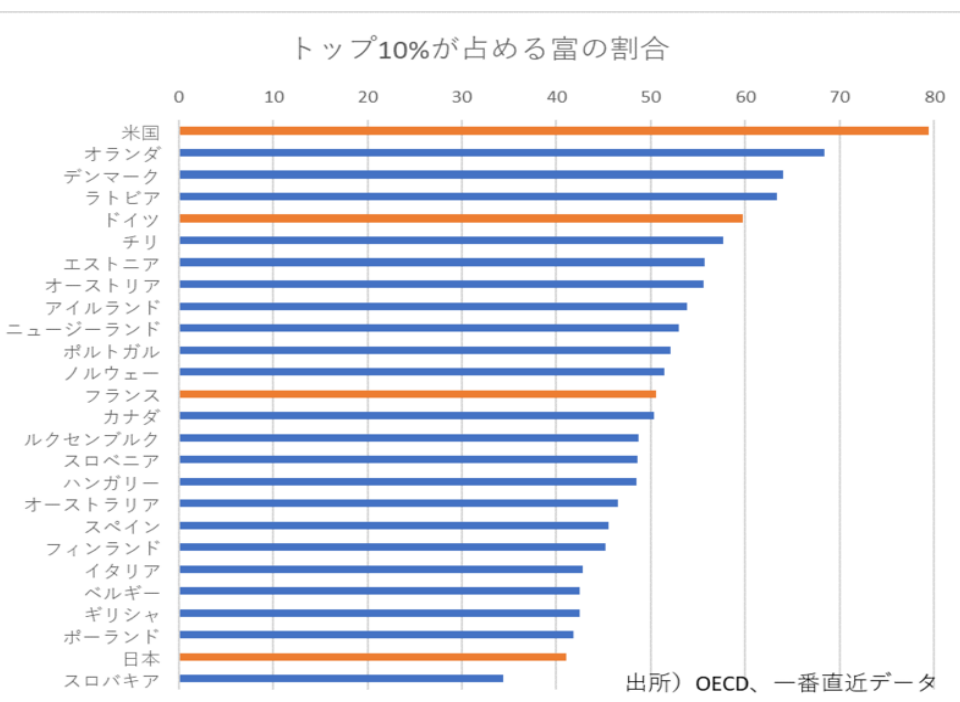
中国語、二番目がスペイン語、
そして三番目に問題となっている

英語が来ています。

やはり英語は世界の中でもとても重要な
言語になっています。

次に資料 II を見てください。

↑資料 I ↓資料 II



次に資料 II を見てください。

資料 II では米国、オランダ、デンマーク
等が富を持っているトップ3に入ってます。
資料 II では米国、オランダ、デンマーク等
が富を持っているトップ3に入ってます。

1位の米国の言語は英語

2位のオランダの言語はオランダ語です
がオランダの英語力は世界でもトップ3に
入るほど優れています。

そして3位のデンマークもやはり世界の中
で見ても英語力は高いです

そしてこのように英語教育が進んでいる
国がやはり富を持っていたりと、

英語教育が進んでいる国が国際的にも有利になっていると考えました。

英語が使えるという一つの事実だけでこれだけの差が出ています。

それではこの差がない言語平等社会はどうすれば築けるのでしょうか？

資料 I <https://www.sourcenext.com/product/rosettastone/contents/>

資料 II <https://news.yahoo.co.jp/byline/kimuramasato/20190121-00111914/>

どうすれば言語平等社会を築けるのか？

まずなぜ言語による不平等が起きているのか考えましょう。

言語による不平等の原因、、、それは人と人とのコミュニケーションが人間の特徴である言葉で出来ないからだと私たちは思います。

「コミュニケーションが言葉で出来ないと何が起こるのか」

コミュニケーションが言葉で出来ない
とどうなるのか。

その答えは私たちの身近なところに
ありました。

そう**差別**です。

同じ言語の人々でも意見のすれ違
いがありいじめや差別などの不平等
が起きているのにそもそも言葉が違
う人々では身振り手振りで気持ちを
表さなければならずそこで違う捉え
方をしてしまい、自分の意見をうまく
理解してもらえないし理解ができず
差別につながる。

そしてこれは国際社会にも言えて
うまく他の国との協力などが言葉に
よるコミュニケーションができないの
で、差ができそこに**不平等**
が生まれます。



↑画像 I

「この不平等を無くすためにはどうすればよいのか」

この不平等はが生まれる元となる原因は言語の違いによりコミュニケーションが
取れないことです。

言語の違いが不平等の原因になるのならどうすればよいのか。

全ての国の公用語を英語にすればいいのでしょうか？

いいえ、それでは世界が宝にすべき様々な言語が減少してしまいます。

それにわざわざ公用語を英語にするよりも、言語を平等化する**道具**を作ればいい
のです。

言語を平等化をすることができる道具とは何か。そう皆さんも知っているであろう
あの**翻訳こんにやく**です。

画像 I <https://www.photo-ac.com>

「提案：翻訳こんにやく」

皆さん、ドラえもんを知っていますか？

そうです、あの国民的な有名アニメドラえもんです

ドラえもんの魅力といえば一つ一つが個性的なひみつ道具にあると思います。

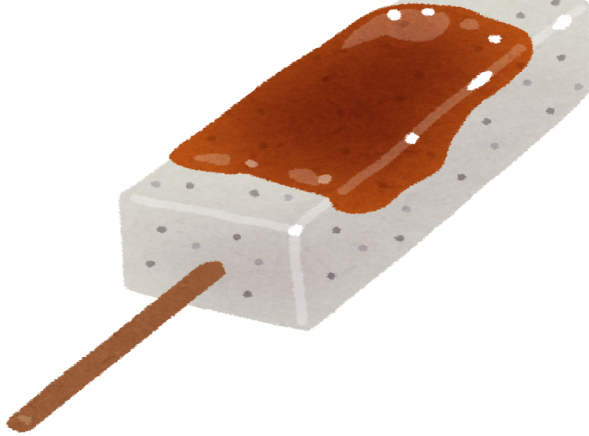
そしてそのひみつ道具の中に**翻訳こんにやく**というものがあるのを知っているでしょうか？

翻訳こんにやくとは、これを食べると相手の言語を母語として理解でき外国人等と言語の壁無くコミュニケーションができるひみつ道具。

つまり**言語による不平等を無くす**ための最高のひみつ道具なのです。



↓画像 II



ですが翻訳こんにやくそのものを作ることは今の化学力では出来ません。

しかし似たようなものを作ることは出来るのでは無いでしょうか？

そして翻訳こんにやくのようなものが世界にあれば、**言語平等社会**の実現も可能ではないのでしょうか。

多言語同時通訳アプリ「Babel」

このBabelは旧約聖書に出てくる「人々は天にもと届く巨大な塔を作り神に挑戦しようとしたので神に言語を乱され人々はバベルの塔を作るのをやめ世界に散らばった」という話から取っています。

そしてこのような意味を持つこのアプリは会話の中で使える通訳アプリで、実際に通訳士とAIが連携してこのアプリを使っている人と外国人の会話をサポートするアプリです。

画像 I : <https://www.photo-ac.com/main/search?q>

画像 II <http://kido-syokuhin.com>

引用元 バベルの塔 <https://kotobank.jp>

多言語同時通訳アプリ「Babel」

- ・このアプリを使う人が自分の言語のあいさつを端末に向かってしてどの言語を使うのか認識する。
- ・会話時間を入力する。



認識した言語情報と会話時間にあう二人の通訳士に言語情報を送信して会話を開始する。



会話の内容を即時に通訳士が通訳、AIが端末の画面上に表示



通話時間が終了したら最後に各言語のさようならを画面に表示する

↑図 I 自己制作

図 I を見てください。

基本的にこのアプリは、このような仕組みになっています。

このアプリは、他の翻訳アプリとどのように違うに違うのかというと、このアプリは他のものとは違い同時通訳であり、基本的に通訳するのは機械ではなく**人間の通訳士**というところです。

同時通訳ができるということは日常的な外国人との会話に使えるということです。

通訳なんて全部AIに任せればいいではないかと思う人も多くいると思います。

しかし実際には会話でつかう言葉は実際の意味で使わない場面も多くあり、そのような言葉の通訳はAIよりも通訳士のほうが正確だからです。

そして想像をしてみてください。

外国人との言語の壁がないコミュニケーションを出来るということは、全ての人たちが世界の人たちに言語が違う違わない関係なく評価してもらえるのです。

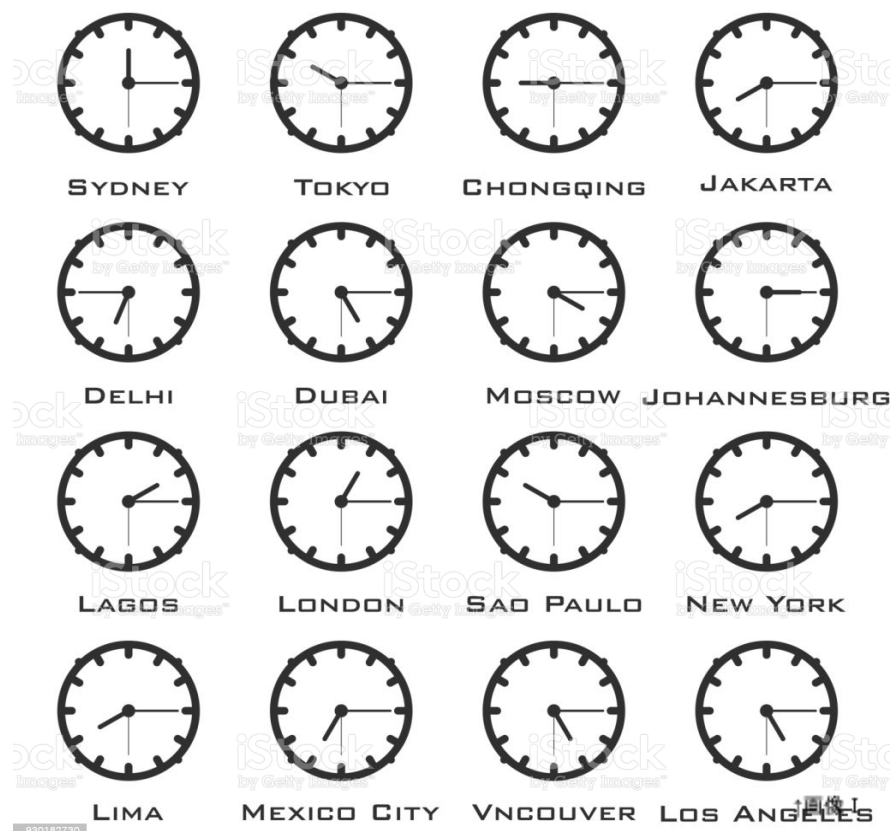
問題点

- 世界中の人が使うのならば時差により通訳士が対応できない地域がある

- 世界中の言語に対応できる通訳士を雇えるのか
- 雇うためのお金はどうすればいいのか

改善方法

- ・一つ目の問題点に対しては時差による問題は時差が12時間違う地域に通訳士をおけば24時間体制で通訳士が対応できいつでもどの国でもこのアプリを使うことができます。
- ・二つ目の問題点を改善するためにはそれぞれの国の公用語を使っている成年した社会人を雇えば解決できると思います。
- ・三つ目の問題に関してはお金のことに関しては国が国際のため使っている税金の何割かを使えばいいと考えました。



画像 I <https://www.istockphoto.com>

平等に対する願い

平等とは何か、私たちはその問いにこのアクティブラーニングという活動を通して何度もぶつかってきました。

全ての人々が努力によって報われることなのか、それとも全ての人々が差別なく接せることなのか、

私たちはこの問いに答えは無いと考えました。

平等は人によって認識が違い、共通していると思われる認識もあやふやなものです。

ですが人によって平等の認識が違おうとしても不平等というのは受けている人以外は誰にでもわかるものなのです。

不平等な扱いをしている人が一概に悪いにでもなくその様な扱いをさせている社会に問題があります。

人はわざと他人を傷つけるようなことをするようことを本当はするはずがありません。

なぜなら、傷つけられる痛みを人は知っているからです。

しかし、今の人たちは世の中の流れにのって生きているがために気が付かないうちに人を傷つけてしまうことがあります。

その世の中の流れというのはお金であり、一部の人であり、言葉なんだと思います。

そんな不平等を少しでも無くそうと考えたのが、私たちの提案なのです。

平等な社会を実現するために

平等な社会というのはつまりは、不平等が無い社会。

不平等が無い社会というのはつまりは、世の中の流れに乗らず人と人とが尊重しあえる社会であると私たちは考えました。

感想

・この**言語平等化社会を目指す**という議題について考えてきて思ったのがやはり本当の言語平等社会を作るためには世界中の人々との直接的なコミュニケーションが必要だと思います。

SNSなどではなく、やはり直接的な会話による交流が必要であり私たちが提案したものは、言語が違う人たちのコミュニケーションを手助けするために話し合い考え出したものです。

ですがこのような通訳アプリや翻訳アプリに頼るだけでは本当に言語が違う人との**交流**にはならないと考えます。

そして母語とは違う言語を身につけるといことはつまり自分の中にある表現の幅が広がり、視野を広げることにつながると思います。

なのでこのような翻訳アプリや通訳アプリを活用しつつ、外国人との言葉(**英語**)によるコミュニケーションが出来る様になりたいです。 小金丸幹太

・自分は**言語平等社会を目指す**という議題について英語をしゃべれる国しゃべれない国・・・この差を埋めるために小金丸君と一緒に一生懸命考えました。やはりいま世界に広がっている言語が**英語**であるために**英語**がしゃべれない国が世界の中で圧倒的に不利であるためこのアプリが有ったほうがいいかな・・・なんていうことを2人でずっと話し合いました。

その結果**多言語同時通訳アプリ**という超便利アプリを考えました。

この超便利アプリは文中にも有る通り文の意味を間違えてとらえてしまうこともあるAIよりもその状況にも会う通り翻訳してくれる**人間の通訳士**の方が相手にも誤解を生みにくくAIにはできないような会話をすることができます。

ですが今日本でも広がっている義務教育中の英語の学習。

このことを怠らなければ簡単な会話ぐらいはできるはずです。

このアプリを使いすぎて自分は日本語を喋るだけ～...

それだけでは自分はだめだとおもいます。

全てを翻訳アプリに頼らず少しは自分で話してみてもどうでしょうか？

その少しの努力も**言語の平等社会**を実現するために大切なことだと思います。

この翻訳アプリは少なからず今の言語不平等社会にいい影響をもたらすと思います。この翻訳アプリを生かして世界中の人と楽しく会話をしようと思ました。

鷹取周斉